

会 報 <第403号>

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和元年5月1日

<目 次>

- I 第473回(平成31年3月)月例会報告 『音楽のまち神戸を考える』 …2～5頁
講師 宮本 慶子氏 : 神戸マリンバソサエティ代表

はじめに

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 音楽の力 | 3 秀れた音楽家を育てる(人育てを経験して) |
| (1) 震災と音楽 | (1) 人育て事始め |
| (2) 神戸市立中央市民病院コンサート | (2) 人生を変えた礼儀の話 |
| (3) 音楽は先回りの福祉 | |

- 2 音楽(文化・芸術)を支える市民の力 おわりに
(1) 聴く力
(2) 支える力

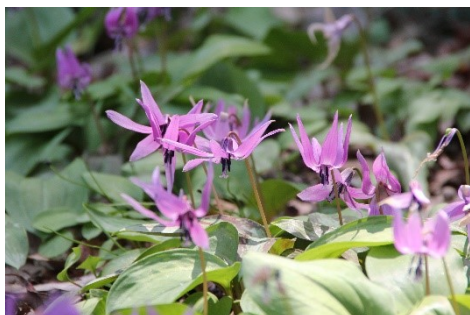
- II 寄 稿 神戸秘話第21回『日本が誇る名優 志村喬と政子夫人』…6頁
(一社)兵庫県建築会 会 長 瀬戸本 淳

- III 見学レポート ぶらりまち歩き『西国街道と兵庫津』 …7～8頁
(2)元町商店街と銘菓瓦せんべい
(株)岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏、事務局

- IV 花だより カタクリの花、枝垂桜 善福寺(神戸市北区有馬町) …5頁
伽耶院(三木市志染町) …8～9頁

- V お知らせ 行事案内、事務局だより …10～11頁
広報コーナー(住宅再建共済制度、総合資格学院)

今月の花だより : カタクリの花、枝垂桜 伽耶院 (三木市志染町)



I 第473回（平成31年3月）月例会報告
講演テーマ 「音楽のまち神戸を考える」
講師 宮本 慶子 氏：神戸マリンバソサエティ代表



はじめに

今日は、建築会の皆様に音楽の話をさせていただきとても光栄なことでございます。

地元での音楽活動につきましては、兵庫県・神戸市ともに音楽に理解を深く持たれたトップの方が続き、ご支援をいただき県民、市民にとっては幸せなことです。

私は、『兵庫県音楽活動推進会議』を二十数年前に立ち上げ、トップクラスの演奏家でボランティア精神のある方をメンバーとし、「清く正しく美しく」をモットーに音楽活動をしようと、今39人位の精鋭で活動をしています。

〈音楽家〉＝〈特殊な技能を持った偉い人〉といったイメージをなくし、とにかく皆さんと一緒に音楽を楽しんでいただける活動をしようとの趣旨でつくりました。

1 音楽の力

(1) 震災と音楽

阪神・淡路大震災の後、避難所へ『神戸市混声合唱団』が歌を、私の愛弟子の松村公彦（和太鼓松村組）が太鼓を叩きに行く活動をしました。

しかし、最初は「太鼓の音は、地震を思い出すからいらない！」と言われました。

心理学の先生のお話によると、人は極限状態では、何も聞きたくない。少しよくなると風の音、鳥の声、水の音が受け入れられるようになる。次に、モーツァルトの音楽が心に入り、近代、現代音楽へと進むと。

慰問での曲の選定を学びました。

(2) 神戸市立中央市民病院コンサート

多くの音楽家も被災し、元気を失っていた時、お見舞金をいただき、音楽家による慰問を計画しました。神戸市立中央市民病院へ伺い、広いロビ

ーに何百人もの点滴が乱立した中で楽しい曲を演奏しました。

ある女性は元気な時を思い出し、一日も早く退院して、また先生の演奏会に行きますと言われた。

また、危篤の患者さんが、マリンバ演奏の案内の館内放送を聞き、ふっと目を開け「聴きたいなあ」とのことで、移動式ベッドでロビーへ来られ、八木節に手拍子を合わせられたそうです。

後日、事務局長さんから電話があり、あの翌日に亡くなられたが、「いい演奏をいただきお礼を言っておいて欲しい」と最期に言われ、いいプレゼントができて嬉しかったと言われました。

まさしくこの2つが、私たちが音楽をやってよかったと思うことです。

(3) 音楽は先回りの福祉

音楽とか芸術文化は趣味の世界との考えで予算が切られることがあります。

私は、芸術文化＝音楽は【先回りの福祉】であると行政の方に申し上げています。【後追いの福祉】というのは病院関係ですが、大変な経費がかかります。

先回りの福祉という音楽や芸術は福祉にかかるものと比べると、それは大した額ではないのです。

ある介護施設での演奏後、ご婦人が「忘れもの」を取りに戻ってきて、「歩けないから手押し車できて、演奏を聴いたら、それを忘れて、自分の足で部屋まで戻った。何年かぶりで自身で歩いた！」と言われた。

音楽で元気になるという例で、まさしく先回りの福祉と思います。



神戸マリンバソサエティ設立50周年記念コンサート
和太鼓松村組とデュオ

2 音楽（文化・芸術）を支える市民の力

（1）聴く力

音楽には、演奏する役目と聴く役目があり、聴くほうの上手下手というのでも演じる側から見られています。

外国の演奏家は、地方の県と大都市とでは客の反応が違うといい、そのせいで演奏の力の入れ方が違ってくると言います。やはり東京、京都、大阪、横浜では評価がすごくよく張り切れる。

文珍さんは神戸のお客さんは怖い、うわっと来てくれへんという。ちょっとシャイやかからか、気取り屋さんなのか。

ある会のステージで、「聴く側の力、聴く側の役目というのがあるのよ」と言って楽屋に戻ったら、「先生、拍手が鳴り止みません。もう一遍出て下さい」ということで、こちらも笑いながら何度もアンコールをやりました。

聴く側も見られていることを意識し、また、市民力の評価も見られていることを感じながら、行動していただけたらと思います。

（2）支える力

○海外ではよく神戸にはオペラハウスやホール、オーケストラはあるかと聞かれます。それらは、都市のレベル、評価、価値のバロメーターになっているのです。

兵庫県には、芸文センターにオーケストラがあり、民間施設もいろいろある。神戸にあるのは「神戸市室内管弦楽団」だが、いずれフルオーケストラへ発展することと期待している。

そして、私が整備計画検討委員をしている「新文化ホール（仮称）」が8年後にでき、完成の暁には私も現役で舞台に立てることを願いながら、いずれ京都、大阪、東京と太刀打ちできるように私達は頑張っていきたい。

○神戸では世界三大コンクールの一つ、フルートコンクールをしており、ヨーロッパに行くと「フルートコンクールの神戸やねえ」と、「ファッションのミラノ」と同等に言われる位のウエートがあります。

ところが、市長から中止の話があり、経済界がこれでは神戸はあかんと目覚めてくれ、フルートコンクールを支援する「神戸文化マザーポートクラブ」が設立されました。危機感を共有して、市長が描いていた“市民の中で支援をする”形ができたのです。

市民の力、行動が都市のバロメーターになるので経済界も一生懸命にやって下さっています。

○兵庫県の歴代知事は音楽に理解が深く、県民一人当たりの芸術系の予算は、東京に次ぐ2番目で、それは幸せなことです。

芸文センターには、世界中のミュージカルやオペラが来て、日本中のホール関係者から羨望される大成功のホールです。

神戸でも、まちのシンボルとして三宮に新文化ホールが整備され、各地から演奏を聴きに來てくれるようになる。その日を思うと嬉しくて仕方がありません。



平成 30 年新春交流会マリンバ演奏：間瀬尚美氏

3 秀れた音楽家を育てる（人育てを経験して）

（1）人育て事始め

○和太鼓松村組の松村公彦、マリンバの間瀬尚美とか、いろいろ育ててきました。

私が中学2年生のとき、友達妹たち3人が学芸会で木琴が当たり、困っているとのことで教えました。その小学校2年生の子がその後もずっと私の元で続け、マリンバで大学の音楽科へ進学しました。

○私は、小学校から演奏活動をや、いまでいうアイドルの近藤圭子、鰐淵晴子、松島トモ子とかの公演では、マリンバで地元代表として演奏していた。

高校1年の時、霞ヶ丘幼稚園の土井芳子園長から、園児の木琴指導を誘われ、大変さを承知で「させてください」と返事をしました。大阪・庄内の大阪音大付属高校から授業を抜けて垂水区の霞ヶ丘まで通いました。どうしてもマリンバを普及させたいという気持ちが強かったのです。

一度に30人ぐらいのお弟子さんが増え、「学校があるから行けません」と断っていたら、今の私はなかったと思います。

（2）人生を変えた礼儀の話

①大阪音大での経験

土井先生には徹底的にTPOやマナーを仕込まれました。高校生でも公式の場に出るときは、本当のシルクでなくてもシルクに見えるような服、ちゃんとしたスーツを着るように指導されたんです。

私が大阪音大のとき、ピアノ科で一番の人と一緒に伴奏してもらっていた。その彼女が、大阪音

大の講師の採用試験で、面接を受け、帰ってきて泣き崩れているんです。

主任教授から、「あなたは付属校から7年間いて、私と廊下ですれ違っても会釈をしたことがない。人を教える立場の人間が、そういう礼儀知らずでは推薦できません。」と面接のときに言われた。何百人もの学生がいる中で自分のことなど先生は分かっているものと思っていたようで、ものすごい後悔をしていました。ああ！怖いなあと。

②大阪フィルハーモニーでの経験

朝比奈隆先生の指揮で、大阪フィルハーモニーの協奏曲の夕べに私も選ばれて出演しました。楽屋はみんなが相部屋で、大フィルのバイオリンの女性たちも一緒に、バイオリンや服を机に置いていた。

声楽の人が、遅れて入ってきて、自分のドレスを置くのにバイオリンをちょっとのけて、置いたんです。団員の人が、「あんた、何やるの！何で私の楽器をさわるのよ！」と怒りました。ちょっと動かしただけなんですよ。

「済みません」と謝らはったが、本番で怖かった。普通は、歌いはじめにはバイオリンのトップがちゃんと音をくれ、それを聴いて声を出す。でも音をあげなかった。彼女は歌おうとして立っていたが、始めの音が出ない。

朝比奈さんが、指揮台から大きな声で「音をやれよ！」と言われ、それで音が出て、やっと歌い出した。でも緊張と動揺の極限にいた彼女の歌はメロメロでした。

その二つの出来事があり、いくら能力があつて、一生懸命勉強しても、こんな些細なことで夢を壊されるんやと悟った。

③鉄は熱いうちに打ての教え

○人としてのマナーや常識がなければ、いかに音楽ができてあかんと思ったので、それを非常に心して、生徒にはその都度注意しています。

この間も、県の芸術文化協会のある受賞式で賞を貰った若い人が、「おめでとうございます。よく頑張られた」と皆さんから祝福されて何も言わず、ただ頭を下げておりました。

私は横で、「今日はありがとうございましたとか大きな声でお礼を言いなさい」と注意したんです。そしたら、ハッとして「今日はありがとうございました」と声を出しました。今の子は、思っている口に出さない。

○次のレッスンに来た時、何も言わないで楽譜を出して弾こうとする。私が「何か言うことないの？」ヒントを出してもピンとこず、会話が噛み合わない。先日はお世話になりました。ありがとうございましたという発想がない。今の子はそういうコ

ミュニケーションにもものすごく欠けています。

だから、それを引き出すようにするのですね、「何か話がない？」と。「お礼を言いなさい」といきなり言うのはだめです。「何か話がない？」と考えさせる。それでもハッと思う子はほとんどいません。

ご挨拶とか、おはようございますとか、そういう声が出るように日頃から指導していかないとダメだと思います。

④指導は速やかに

私の指導は、何か差し障りがあれば、すぐに指摘し、褒めるのもすぐその場で言うことにしています。「今のはよかったよ」、「今の言葉よかったよ」とか。

ダメなときは「さっきの何！」と、その場で言う。「今日の服、あかんよ」とか、「今日のは、いいよ。ものすごくぴったり」という感じで。それが私のやり方です。

おわりに

私がネーミングした兵庫芸術文化協会主催の「新進芸術家育成プロジェクトリサイタルシリーズ」というのがあり、若い音楽家にリサイタルの機会をつくろうというものです。

リサイタルシリーズでは、プログラムや招待状やチラシのつくり方、挨拶の仕方など全てにアドバイスをして、立派な音楽家を育てようとしています。後進のために県、市にもご理解を得て活動をしており、皆様にもよろしくお願ひしたいと思っています。

最後に、音楽会の招待状をもらった時、皆さん気を遣われると思います。何にも要りません。招待状をもらったら、行ってあげてください。もし何かをと思われたら花やお菓子ではなくチケット代を上げてください。それが一番嬉しい。そして何よりも来て下さるのが一番嬉しい。

招待券を忘れても名刺を置いていただくと、それが1人分になるのです。来場者数には大変気を遣っています。

ぜひこれからも応援をよろしくお願ひしたいと思っています。

きょうは、ありがとうございました。





神戸マリンバソサエティ設立50周年記念コンサート
愛弟子 松村 公彦氏とコラボ

講師 宮本 慶子氏 プロフィール

- ・大阪音楽大学卒業。同専攻科終了。
- ・大学卒業の秋に神戸国際会館大ホールにて、デビューリサイタルを開催。
大阪フィル、京響等の共演のほか、全国各地での演奏会に多数出演。
- ・ラジオ、テレビでもレギュラー番組を持ち活躍。
1979年中国にて演奏を行い、初めてマリンバを紹介した。西ドイツ、アメリカ、中国、オーストラリアにてコンサートツアーを行う。
・マリンバの普及を目指して神戸マリンバソサエティを主宰され、アンサンブルローザ、和太鼓松村組をはじめ多くの秀でた後進を育て注目されている。
- ・兵庫県文化賞、兵庫県文化功労章、神戸市文化賞、神戸市文化功労賞などを受賞。
- ・神戸芸術文化会議常任委員、兵庫県音楽活動推進会議代表
- ・現在、神戸山手女子高等学校音楽家講師、ヤマハミュージックリテリング神戸上級コース講師。



(主な役職)

- ・神戸マリンバソサエティ主宰
- ・兵庫県音楽活動推進会議 代表
- ・神戸音楽家協会 監査役
- ・(公財)神戸市民文化振興財団 理事
- ・神戸芸術文化会議 舞台芸術部会長
- ・(一財)神戸新聞文化財団 理事
- ・兵庫・神戸CSの会 幹事
- ・神戸中南米音楽協会 理事
- ・新・神戸文化ホール整備計画検討委員
- ・神戸中南米音楽協会 理事

善福寺(神戸市北区有馬町:727年行基上人の創建)
名称「糸桜」(一重の枝垂桜)



昭和49年 神戸市民の木指定
樹齢 270年以上



Ⅱ 寄稿 神戸秘話第21回 『日本が誇る名優 志村喬と政子夫人』 (一社) 兵庫県建築会 会長 瀬戸本 淳

日本が誇る名優で邦画の黎明期を支えた志村喬。生涯で出演した映画は「姿三四郎」「酔いどれ天使」「野良犬」「羅生門」「生きる」「七人の侍」など黒澤明監督の作品21本を含め443本にものぼる。

かつて銀山で栄えた全国屈指の鉱山町、生野町(現・朝来市)で1905年、志村喬(本名・島崎^{しょうじ}捷^{もとめ}爾)は、土佐藩士の家系・島崎家に父・毛登女、母・喜与^{きよ}の次男として生誕。きょうだいは男3人、女4人の7人で、父は銀山の冶金技師だった。小学校を優等で通し、兄の敏夫を追って神戸一中(現・県立神戸高校)へ。後に横浜ゴムの社長を務めた敏夫は21回生。志村は23回生で、私の時代の名校長・高山忠雄と同期だ。青谷の下宿家に敏夫と一中の英語の先生(後に外交官になる三浦和一)と3人で住み、3人でよく摩耶山に登り、一中名物「立ち食い」も経験している。

その後、父親が宮崎に単身転勤となる。志村は軽い肺病のため2年進級が遅れ、母や兄弟と共に父のもとに合流し、延岡中学校へ転校。在学中は泳ぎ、ボート漕ぎの名手として知られたほか、同人雑誌に加わって詩も寄稿していた。卒業後、関西大学予科に入学するが、父の退職で学資援助が得られなくなって夜間の専門部英文科に転じ、大阪市水道局の臨時職員として生計を立てる。この頃、講師に劇作家の豊岡佐一郎やシェイクスピア研究家の坪内士行(坪内逍遙の養子)がいたことから演劇熱が芽生え、大学の演劇研究会に参加。芝居に熱中するあまり水道局は欠勤続きで、ついにはクビとなる。そこで大学も中退して本格的に役者の道を目指し巡業などをするが、結果は大赤字で失敗。志村の人生の転機は、この行き詰まりから生まれた。生活できず、友人で後に東宝撮影所長になった森田信義の世話で「近代座」に入り職業俳優として舞台に出演。しかし同じような芝居が続いて気持ちや生活態度は荒み、演技も惰性になっている自分に気付き、巡業先で一座を離れ「新選座」などの舞台に立つが、芝居の世界は景気が悪くなる一方で、舞台で鍛え上げた実績を生かせると思い、この頃主流になり始めたトーキー映画へ転向した。

志村は1937年2月に見合いをし、結婚は11月と時間がかかっている。相手は8つ下の山田政子。神戸元町の老舗料亭「松源」を営んでいた父

の死後、はじめて経験した母との借家暮らしは須磨区権現町の家だった。神戸市森高等女学校(現・神戸学院)を卒業し神戸大丸に勤めていた。志村は「いまの女房が、ああいう変わったのが、見合いの相手に出てきたんですよ」と照れながらまわりに語っていた。32歳と24歳の二人の間を手紙が行き交う。婚約時代の往復書簡の文面からは彼の独特の思いやりが伝わってくる。嵯峨野で結婚生活をスタートさせ、志村が没するまでとても仲のいい夫婦だった。夫人は天真爛漫で芯が強く、誰もが人間性に魅了された。子供がいなかったこともあり、妻を残して逝った志村はさぞ辛かったことだろう。「お前にはえらい目にあわせた・・・もう4、5年楽しんでからおいで」と志村に言われた政子夫人は、2005年に92歳で大往生を遂げた。夫人の著『美しく老いたし』では高倉健がまえがきを書いている。

【つづく】

※敬称略

※神戸新聞社編『わが心の自叙伝(映画・演劇編)』(神戸新聞総合出版センター 2000年)、薄地久枝『男ありて 志村喬の世界』(文芸春秋 1994年)、志村喬記念館広報などを参考にしました。



写真／志村喬 国立映画アーカイブ所蔵

志村喬(しむらたかし)

映画俳優

1905年、兵庫県朝来郡生野町(現在の朝来市)生まれ。旧制神戸一中などを経て関西大学予科へ進学、同大学専門部二部(夜間)へ転部、大阪市役所に勤務しながら通学していたが、演劇に打ち込み、中退。近代座を経て、30歳で新興キネマに入社。

マキノ、日活、松竹と移り、東宝へ。ここで黒澤明監督に出会い、「姿三四郎」「わが青春に悔なし」「酔いどれ天使」「羅生門」「七人の侍」「生きる」「用心棒」「醜聞」「隠し砦の三悪人」「蜘蛛巣城」「天国と地獄」「赤ひげ」「影武者」など、ほとんどの黒澤作品で重要な役割を果たす。ほかにも溝口健二、伊丹万作、吉村公三郎といった名監督らの傑作に数多く出演し、渋い役回りの名優として評価は高い。

他の出演作は「ゴジラ」シリーズ、「男はつらいよ」シリーズ、「華麗なる一族」「動乱」「天平の甕」など。1982年、76歳で死去。

月刊神戸っ子 2018年9月号より転載しました。

Ⅲ 見学リポート

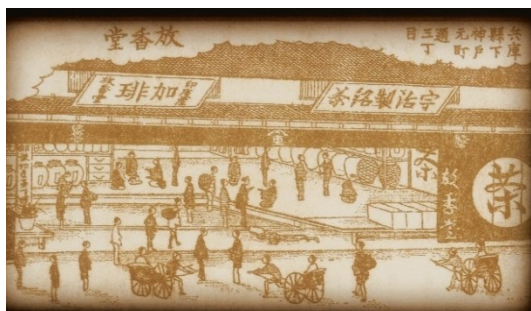
ぶらりまち歩き 『西国街道と兵庫津』

(2) 元町商店街と銘菓瓦せんべい

㈱岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏、事務局

三宮神社を後にして、元町商店街を高松氏の名調子を聞きながら（というより掛け合いに近い調子で）、前号でお知らせの100年超商店を確認しつつ、お茶屋の放香堂にてハイカラ神戸を象徴する日本最古のコヒー店を視察。

確かに、明治11年12月26日付讀賣新聞に“焦製飲料コフイ”と、日本初の珈琲を提供するお店の広告が掲載されている。



放香堂店内掲示写真
(神戸市立博物館蔵 明治15年当時の店頭風景)

時間の都合もあり店頭の看板を確認し、お約束の次へ急ぎ、6丁目浜側の亀井堂総本店に着くと、待ち受けていたのは松井様。

そもそも瓦せんべい、素材は卵、砂糖、小麦粉であり、カステラと同じものである。カステラなら当時の製法では日持ちせず「神戸土産」とならなかったが、瓦せんべいなら当時でも2日は持ったことから神戸を發つ時に買う土産として重宝された。このエピソードは初めて發売された「あんぱん」の始祖ともどこか似ている。

港を東側に、大型貨物ヤードを西側に擁していた元町の特長・立地条件によって生まれた副産物である。そういえば、洋風の味わいは当時の元町商店街に林立していたコーヒ（あえて当時の通り表記）とも合うモダンな煎餅である。

創業者 松井佐助氏と明治初期の店舗



松井様「最近のご家庭じゃ買ってまでそんなボリボリお煎餅って食べないでしょう。」

谷「え、そんなことないで。〇〇煎餅とか好きでよう食べるよ。」谷さん、歯が健康な証ですね。松井様から、創業当時の苦勞からうかがってみました。

ところで何故、わざわざ瓦の形が選ばれたのか？諸説あるが、瓦が縁起の良いものの象徴とされていたからとも、創業者が瓦収集の趣味があったからともいう。

経営者が松井さんなのに、屋号は亀井堂？まだ手売りで煎餅を売っていた頃、三宮神社の宮司から“亀のようにじっくり歩みなさい”とのお言葉をいただき、今日まで140年以上も続いているのだとか。門前町らしい由来である。

進取の気概を失わず、いつの時代も新しい味の追求に余念がない。しかし売り上げ的にピークだったのはポートピア81の頃。それ以降、品種の整理統合を重ねながら、「モノ」から「コト」への時代に合わせ様々な企業や団体とのコラボにも力を入れ、「贅沢煎餅」「ハイカラ煎餅」の魅力を啓蒙されている。

この取材でずいぶん時間をとって頂いたので、さすがにタダで帰るのは忍びないと少額ながら品物を買って帰った。紙芝居をタダ見できないのと同じ心境であった。

お話をいただいた松井隆昌氏と現店舗



〇瓦せんべい誕生秘話（亀井堂ホームページ参照）

創業者松井佐助氏は、明治初期に神戸の菓子屋に奉公。創意工夫に長けた性格もあり、当時の神戸ならではの環境から、入手しやすかった材料を使って改良を重ね、小麦粉に高価な砂糖、卵を加え洋風の味覚を醸し出すお菓子を作ったのが瓦せんべいである。（これをオーブンで焼くとカステラになる。）

折しも天皇中心の政治体制確立の背景から、後醍醐天皇を奉じた楠木正成を奉る湊川神社が建立された。このこともあり、せんべいに楠公の図柄を焼き付け、古代瓦の収集の趣味をヒントに屋根瓦の形状にした。

瓦せんべいの起源である。

○「元町商店街」への歩み

① 明治期に至るまで、現在の三宮～元町を形成していた主な村は、生田川から西へ「神戸村」「二つ茶屋村」「走水村」の三村で、神戸村の名称は今の神戸市に至る。

神社に税を納める人を「封戸」といい、「神戸」とも呼ばれた。カミト、カノトなど読むが、生田神社では、「カンベ」といい後に「カウベ」「コウベ」となった。

その西隣が二つ茶屋村。花隈の周辺のような。永禄年間に二人の者が茶店を始めたことに由来する名とある。茶店の出店により人が集まり、海運業が村の中核事業となっていく。

更にその西が走水村で、宇治川まで至る。名のとおり雨のたびに氾濫して道行きを妨げていたようだ。（「神戸の良さが元町から」参照）

② 慶応3年12月（1868年1月1日）、神戸が開港され、居留地建設が間に合わなかったため、この三村は雑居地となり、明治元年（1868年）11月に三村が合併して神戸町となる。

そして、明治7年大阪・神戸間の鉄道開通に合わせ、神戸町の西国街道沿いにあった町の名称を「元町通」と改称し、現在の元町商店街となる。

（4丁目こうべまちづくりセンター前案内板

「西国街道と元町商店街」：神戸大学大学院 参照）



○走水の地名

「ハシウド」と読む。

一説に、地域を流れていた宇治川が、雨が降るたびに「走り渦」となって流れ、流域に被害を及ぼした。このため地域を「走水村」と呼んだ。

現在の宇治川は、昭和13年の阪神大水害で改修され宇治川商店街の地下からハーバーランドの東へ流れ込んでいる。

地域の名を残す「走水神社」（主祭神 菅原道真）が5丁目の本通りの一筋南に鎮座している。

○ハイカラ神戸

見学会のフォロー取材で4月12日に元町1番街を再訪した時、軽快なヴァイオリンの音色、ラデツキ行進曲が流れてきた。レコードでもないし…と見ると店先に人垣があった。写真のようにお店のご主人と奥さん、ご子息のデュオ。かつ和装屋さん。明治期の取材に相応しいロケーションに見とれ、聴きほれていました。さすがのハイカラ神戸。



Ⅳ 花 だ よ り

伽耶院（三木市志染町大谷）：カタクリ、枝垂桜
善福寺（神戸市北区有馬町）：糸桜（一重の枝垂桜）

○カタクリの花

「三木の伽耶院というところにカタクリの花が咲いている」と家内が新聞情報をくれた。彼岸に六甲高山植物園に寒いので嫌がるのを無理に連れて行ったのが功を奏したようです。（4月号掲載）

このお寺には二度ほど参詣したが、カタクリの花情報はなかった…一度はホテルで夜でしたが。

昨年4月390号で投稿いただき丹波市清住の見事なカタクリの群生写真を掲載しましたが、県の中南部では珍しいものです。境内の植物の管理をしているボランティアの方に何うと、雪などで痛めてやることで生育を促すとのことでした。

三木市のこの周辺は寒暖差が大きく、植栽地が北向きの山裾と条件が揃ったこと、少し離れた日当たりのいい場所では生育が悪い、とのことでした。地元ボランティアの花あかりの会や子供会が面倒を見ているようです。

カタクリの説明は昨年4月の会報に載せましたのでそちらをご覧ください。

会報第390号（平30年4月）

<http://www.kenchikukai.or.jp/infomation/img/kaicho390.pdf>

○カタクリの花 山裾の北向きのもの



○南が開けた陽当りのいい場所のものはまばらな状態



○境内にある枝垂桜



○伽耶院（がやいん）



大化元年（645年）法道仙人の開基とされるが確たるものは不明。しかし、平安時代は数十の堂宇等を備え、花山上皇の行幸も伝えられ隆盛を極めた。羽柴秀吉の三木城攻めで兵火などで一旦全山が焼失し、現存は1610年以降の再興にかかるもの。江戸期には天台系山伏を統率する四院家の一つとして修験界に威を振るったとされ、現在も近畿では最大規模の採燈大護摩が行われている。（ウィキペディア参照）

県道83号（平野三木線）を北上して山陽自動車道三木東インターを過ぎると直ぐに伽耶院の標示があり右折。

6月にはこの県道から分岐する伽耶院への市道沿いの小川ではホタルの群舞が見られる。

○断 層



伽耶院の駐車場の川向にある崖は、柱状節理と呼ばれる神戸層群の特異な露岩で、露岩やや右寄りにタテに直線の断層が走り、その左右では岩層が約1m食い違いを見せている。

更に右側部分は大きく波打っており、かつてこの付近を襲った大地震のあとである。

断層がこのようなはっきりと見えるのは珍しいとのこと。
（断層の解説板参照）

○善福寺（5頁に寺院の由緒、糸桜の画像掲載）



ぼちぼち桜も終わりの4月13日（土）、糸桜の善福寺へ。寺院は温泉街入口にあるが、車は最奥部のロープウェー乗り場に置き、昔ながらのまち並を残す湯本坂（上の写真）の散策を楽しみながら目的地へ。前週（4月7日）にさくら祭りを催したせいか意外と人出は少なかったものの、5頁のように桜はまだ十分に鑑賞でき、この辺の日程が穴場かもしれません。次年度の参考に。

V お知らせ

◎行事予定

1 総会及び会員交流会

日 時 令和元年5月22日（水）
17時00分から20時00分
会 場 神戸三宮東急REIホテル
議 題 平成30年度事業報告外
ご案内中です。

2 6月月例会（第466回）

日 程 令和元年6月13日（木）12時～
テーマ 『伊能忠敬・兵庫の足跡とその生涯』
講 師 小嶋 明氏
・多可町地域共生社会づくり運営協議会会長
・伊能忠敬・多可の道プロジェクト共同代表
概 要 伊能忠敬没後200年、兵庫県内の縁の地域が集い「伊能忠敬・五国の足跡フォーラム」が開催され、その偉業の検証が報告されました。講師は多可町の代表として、またフォーラムの中心的役割を果たしてこられました。月例会では講師の活動結果を踏まえ伊能氏の偉業とその生き様を講演いただきます。

4月下旬にご案内します。

3 7月月例会（第467回）

日 程 令和元年7月11日（木）12時～
テーマ 『豊岡市の挑戦～Rocal & Groval Cityを目指して～』
講 師 豊岡市長 中貝 宗治氏
5月下旬にご案内します。

◎事務局だより

○ 平成から令和の時代へ

会報は一足早く令和年号での発行となりました。

発行日の5月1日には、皇太子殿下の即位による新元号“令和”が施行され、その当日に行われる儀式は「剣璽（けんじ）等承継の儀」と言われるもので、三種の神器のうち八坂瓊勾玉（やさかにのまがたま）、草那藝之大刀（くさなぎのたち）の二種が渡御されます。

そして、これより1年にわたって即位の行事が行われ、10月22日には「即位礼正殿の儀」という即位を国内外に宣言する儀式が執り行われます。これが「即位の礼」と言われるもので、国内はもとより諸外国の国家元首らが参列します。この後、11月に大嘗祭、翌年4月に皇位継承第1位の「立皇嗣の礼」が行われます。

平成天皇におかれてもこのような手続きを踏まれてきたことですが、全く記憶はないですね。生涯に二度も即位の行事を経験することになるわけですから、今度はしっかり歴史を見守っていききたいと思います。令和の時代が文字通り平和で穏やかな時代であることを願いつつ。

○ ブラックホール

令和の話題に包まれている中、ブラックホールを撮影し画像化することに成功したという、ビッグなニュースが飛び込んできました。これには日本のチームが大きく貢献し、早速TVのドキュメンタリーが快挙に至った追跡取材を放映していました。

地球上の8カ所の天文観測所が協力しての成果で、プロジェクトを始めて10年要したとのこと。その調整には細心の注意はもとより強烈なリーダーシップ、信頼性が必要であったことでしょう。観測からデータの画像化にも2年が必要でした。その瞬間がTVに映りましたが、日本人らしい奥ゆかしい感動がありました。

そして、その役割を果たしてこられた日本の研究者の日頃の生活の様子が出ていましたが、単身赴任の狭い官舎、パンを生でかじる粗末な食事…およそ世界のヒーローとは縁遠い姿がありました。国民栄誉賞的にもう少し環境整備してあげられないものか、と感じましたが。

○ 新年度行事のお願い

来たる総会において本年度の事業計画を報告しますが、先行して6月、7月の月例会の案内を掲載しました。本年度も各界から多彩に講師をお招きしています。ご参加をよろしくお願いいたします。

事務局 : 谷 純夫、石井滝実子
電 話 : 078-996-2851
FAX : 078-996-2852
Email : archit-k@axel.ocn.ne.jp

広報コーナー：住宅再建共済制度

『兵庫県住宅再建共済制度』の詳細は次からご覧いただけます。
 兵庫県住宅再建共済基金HP → <http://phoenix.jutakusaiken.jp/>

フェニックス共済

～兵庫県が提供する「住まい再建のしくみ」～
 兵庫県住宅再建共済制度

1 年5,000円で最大600万円

2 簡単な加入！迅速な給付！

3 他の保険・共済と関係なく加入・給付

県内に住宅をお持ちの方の住宅再建共済制度

年額5,000円で最大600万円の給付

※県民が所有する県民住宅等（年額以上の給付を対象とする）

住宅再建共済制度（一部損壊特約）

年額500円で補修等に25万円の給付

※被害が軽微な場合は、一部損壊（損害割合10%以上20%未満）の認定を要する。

住宅の被害認定	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
給付額	最大600万円	最大500万円	最大250万円	最大25万円
（損害割合10%以上20%未満）				

フェニックス共済の概要

住宅再建共済制度

加入者	県内に住宅をお持ちの方
負担金	年額5,000円
対象	県内に存在する住宅
対象被害	地震、台風、水害等あらゆる自然災害
共済期間	毎年4月1日から1年間
給付金	給付対象 半壊以上で修繕・購入・増築 全壊で修繕 大規模半壊で修繕 半壊で修繕 半壊以上で修繕・購入・増築 入居した場合は、入居した金額など
給付金	600万円 200万円 100万円 50万円 10万円 （居住用補修金）

家財再建共済制度

加入者	県内に住宅をお持ちの方
負担金	年額1,500円
対象	県内に存在する住宅にある家財
対象被害	地震、台風、水害等あらゆる自然災害
共済期間	毎年4月1日から1年間
給付金	給付対象 全壊で購入・増築 大規模半壊で購入・増築 半壊で購入・増築 床上浸水で購入・増築
給付金	50万円 35万円 25万円 15万円

プラス

一部損壊特約

加入者	住宅再建共済制度加入者のうち希望される方
負担金	年額500円（住宅再建共済負担金に追加）
対象被害	地震、台風、水害等あらゆる自然災害
共済期間	毎年4月1日から1年間
給付金	給付対象 一部損壊（損害割合10%以上20%未満）で修繕・購入・増築した場合 一部損壊（損害割合10%以上20%未満）で修繕・購入・増築などをせず、賃貸住宅に入居した場合など
給付金	25万円 10万円 （居住用補修金）

下記宛てにお電話いただくか、この用紙に記入しFAXをお願いします。

加入したいので詳しく説明に来てほしい
 ()月()日()曜日 ()時頃

申込み用パンフレットを送ってほしい ()部

〈お名前〉 フリガナ _____

〈ご住所〉 〒 _____

TEL: _____ FAX: _____

〈郵便・FAX〉 _____

※ 県民が所有する県民住宅等（年額以上の給付を対象とする）

※ 県民が所有する県民住宅等（年額以上の給付を対象とする）

（公財）兵庫県住宅再建共済基金（コールセンター）
 ☎078-362-9400（平日9:00～17:00）
 FAX078-362-9405

フェニックス共済 窓口

- 11 -

広報コーナー：総合資格学院



1級・2級 建築士

0

円

願書

取り寄せ サービス

毎年ご好評をいただいている、**無料の願書取り寄せサービス**。ご友人の分や、会社の分のお取りまとめ等も承ります。当学院が願書をお渡しするので、**入手し忘れ心配無用**。

講座説明会・体験学習会 実施中!

実績が証明した当学院講座の品質をぜひ体験してください

1級・2級 建築士	構造設計/設備設計 1級建築士	建築設備士
1級・2級 管工事施工管理技士	1級・2級 建築施工管理技士	1級・2級 土木施工管理技士
宅地建物取引士	賃貸不動産経営管理士	インテリアコーディネーター

お申込みご相談はお電話、またはメールにて!!

神戸校 神戸市中央区雲井通 4-2-2 マークラー神戸ビル 3F

tel **078-241-1711**

mail **kohbe@shikaku.co.jp**

QRコードでメールアドレス簡単入力

総合資格学院

スクールサイト <http://www.shikaku.co.jp> 総合資格 校舎 コーポレートサイト <http://www.sogoshikaku.co.jp> Facebook → 「総合資格 学」で検索!

[法定講習] 一級・二級・木造建築士定期講習/監理技術者講習/管理建築士講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習/第一種電気工事士定期講習

おかげさまで「1級建築士も2級建築士も合格実績日本一」を達成しました。これからは有資格者の育成を通じて、業界の発展に貢献してまいります。

総合資格学院 学院長 **岸 隆司**

この詳細は次のホームページをご覧ください。

<https://www.shikaku.co.jp/>